

製品名: β -1,4-Gal-T3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab20345

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	B4GALT3
別名	B4GALT3; Beta-1; 4-galactosyltransferase 3; Beta-1,4-GalTase 3; Beta4Gal-T3; b4Gal-T3; UDP-Gal:beta-GlcNAc beta-1,4-galactosyltransferase 3; UDP-galactose:beta-N-acetylglucosamine beta-1,4-galactosyltransferase 3
遺伝子 ID	8703.0
SwissProt ID	O60512
免疫原	抗血清はヒト B4GALT3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

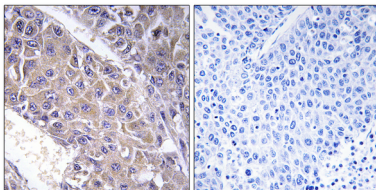
背景

この遺伝子は、7つのβ-1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ (beta4GalT) 遺伝子の1つです。これらの遺伝子は、供与基質であるUDP-ガラクトースに特異的に特異性を持つII型膜結合型糖タンパク質をコードしています。これらの遺伝子はすべて、β1,4結合したガラクトースを、同様の受容体糖 (GlcNAc、Glc、Xyl) に転移します。それぞれのbeta4GalTは、異なる複合糖質および糖構造の生合成において、それぞれ異なる機能を有しています。II型膜タンパク質であるbeta4GalTは、タンパク質をゴルジ体へ誘導するN末端疎水性シグナル配列を有し、このシグナル配列は切断されずに膜貫通アンカーとして機能します。配列の類似性により、beta4GalTはbeta4GalT1とbeta4GalT2、beta4GalT3とbeta4GalT4、beta4GalT5とbeta4GalT6、beta4GalT7の4つのグループを形成します。この遺伝子は、ポリN-アセトの最初のN-アセチルラクトサミン単位の合成に主に関与する可能性のある酵素をコードします。触媒活性:UDP-ガラクトース + N-アセチル-β-D-グルコサミニルグリコペプチド = UDP + β-D-ガラクトシル-(1->4)-N-アセチル-β-D-グルコサミニルグリコペプチド。触媒活性:UDP-ガラクトース + N-アセチル-D-グルコサミン = UDP + N-アセチルラクトサミン。補因子:マンガン。機能:多くの糖タンパク質および糖脂質の炭水化物部分の複合型N結合型オリゴ糖の合成を担います。オンライン情報:ベータ-1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ 3、オンライン情報:GlycoGene データベース、経路:タンパク質修飾;タンパク質グリコシル化。類似性:グリコシルトランスフェラーゼ7ファミリーに属する。細胞内局在:ゴルジ体トランスシステルナ。組織特異性:様々な組織に存在。胎盤、前立腺、精巣、卵巣、腸管、筋肉、そして胎児脳で最も高い発現を示す。

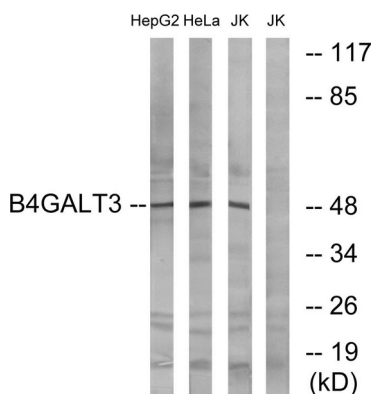
研究分野

N-グリカン生合成;ケラタン硫酸生合成;スフィンゴ糖脂質生合成;

画像データ



B4GALT3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



B4GALT3抗体を用いたJurkat細胞、HeLa細胞、HepG2細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。